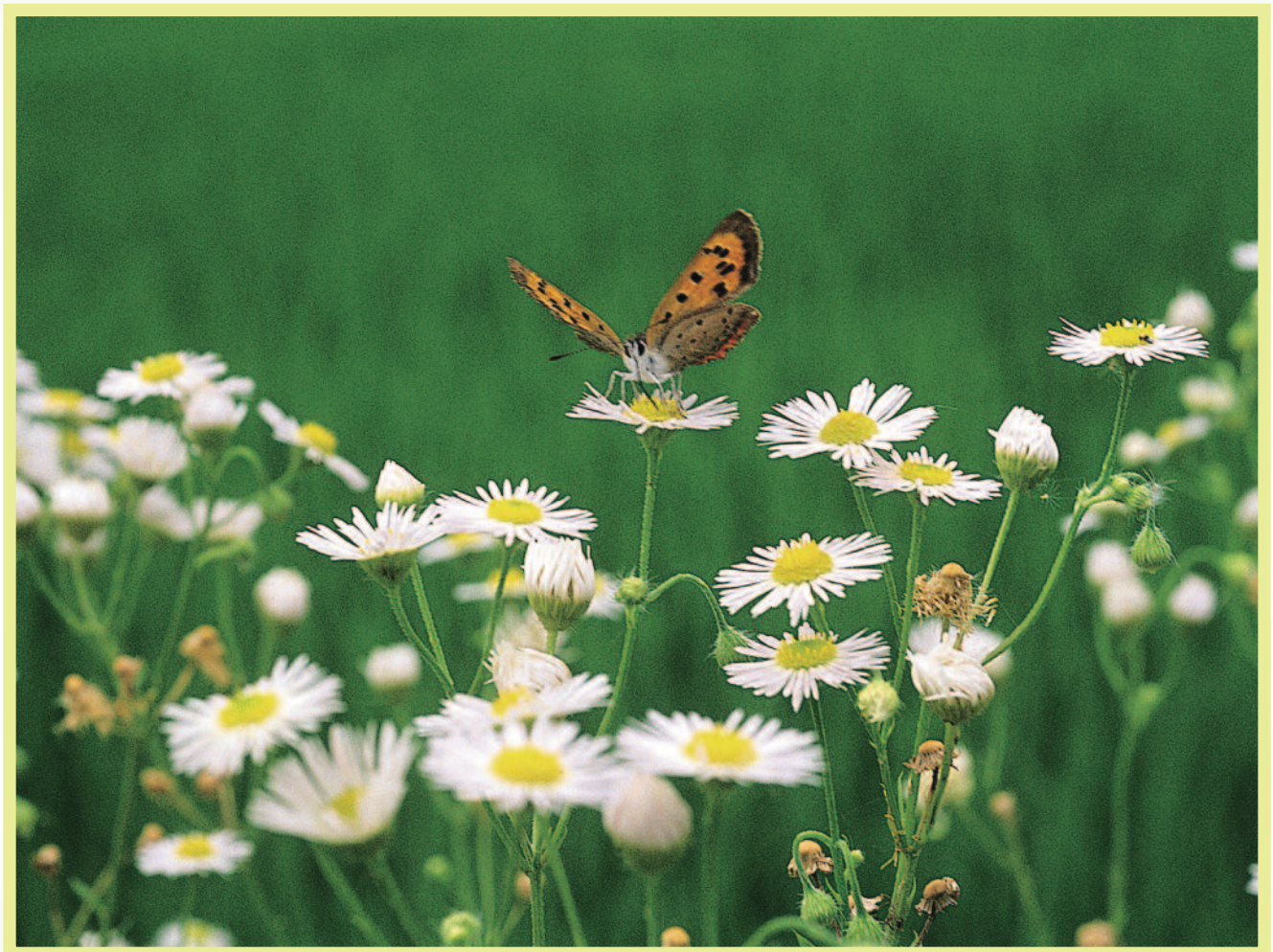


Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital

 獨協医科大学

越谷病院だより

2012.5
21号



● 主な内容 ●

越谷病院長就任のご挨拶（林 雅敏）	2
当院教職員で組織する「獨医連」被災地宮城県にて慰問阿波踊りに参加	3
青葉まつりの開催について	4
泌尿器科外来リフォーム工事に伴う診察室の変更について	5
助産師外来開設日の変更について	5
当院における夏季省エネルギー推進運動の実施について	5
病院への手紙（回答）	6

越谷病院長就任のご挨拶

病院長 林 雅敏

皆様方には獨協医科大学越谷病院にて診療していただきまして誠にありがとうございます。私は筑田眞前病院長の後任としまして4月1日付で病院長に就任しました林と申します。皆様方に高度の医療と質の高い医療サービスを受けていただきますように、なお一層の努力を継続してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。



越谷病院は昭和59年6月に開院しましたが、私は開院時より越谷病院に勤務しています。一時期他大学に勤務しました時期があったものの、ずっと継続して越谷病院に勤めてきました。

平成24年度に越谷病院の患者の皆様に対する看護体制を向上させるために7人の入院患者さんに1人の看護師さんに対応できる7対1の看護体制を確立することを考えています。今までは10人の患者さんに1人の看護師さんに対応してきましたので、7対1の看護体制にしめて質の高い医療ができるように努力する所存です。病院にとりまして、質が高く安心で安全な医療を提供できますことは最重要課題です。職員の全員が医療安全の知識と医療安全を推進する意識を等しく持っていることが大切で、そのような意識の高揚に努める所存です。医療安全管理室と感染制御部は現在十分機能していますが、今後とも高い水準を維持できますように努力いたします。また医療の高度化が進めば進むほど、安全な医療の追求の限界に挑むこととなります。私たちは高度医療と安全な医療のどちらも実現していく所存です。幸いに日々の努力により、越谷病院の医療レベルは非常に高い水準を維持していただきまして各科に優秀な医師が揃っていますので、皆様の期待に沿いました質の高い医療が提供できると存じます。的確で効率の高い医療を実践するために院内のIT化を進め、先端を行く医療設備、検査・診療機器を導入し、高度先進医療を充実させていきます。

越谷病院の役割である高度医療および救急医療を十分に実践するためには、大学周辺地域の病院ならびに診療施設との連携が必要です。そのために、医療連携の緊密化を進めていきます。さらに、患者さんおよび職員の方々のアメニティを向上させるように病院内の整備のためのさまざまな方策を検討しています。いろいろな面で評価の高い病院として皆様から愛されますように全職員が一丸となって努力していきたいと存じます。

当院教職員で組織する「獨医連」被災地宮城県にて 慰問阿波踊りに参加



越谷市における毎年夏の一大イベントとして行われる「南越谷阿波踊り」に当院の医師や看護師を始めとする教職員が「獨医連」として参加しておりますが、3月31日に獨医連はポラスグループの連のひとつであるPO連とともに、昨年発生した東日本大震災の被災地である宮城県名取市閑上地区の住民の方々が住んでいる美田園第一仮設住宅に慰問阿波踊りに伺いました。

獨医連からは20名PO連の方々と合わせ計46名の編成。当日の宮城県内は最高気温7℃と真夏の踊りの格好では誰もが寒さを痛感せずにはいられなかったようですが、踊るうちに寒さは感じなくなり踊り手からは自然と笑顔が。。鳴り物が鳴れば普段は自宅に籠もりがちな仮設住宅の皆さんも徐々に家から出てきて手拍子してくれ、地元の踊りの衣装を身にまとい一緒に踊ってくれる人も出てきてくれたとのことでした。

阿波踊りの掛け声に「踊る阿呆に見る阿呆」というのがありますが、踊りの終盤にはみんな笑顔で一緒に踊っていたそうです。

今回参加した教職員からは、「獨医連はこれまで南越谷阿波踊りのみの活動でありましたが、この遠征を通じて踊りによる人と人との絆を作ることができる大切なものであることを再認識させられました。今回の遠征は我々よりも被災者の方々が我々に何かを下さったのではないかと思われた遠征でありました。」との報告がありました。



被災地の復旧・復興には大変長い時間を要すると思われることから、当院としても継続して様々な形での復興支援を行っていきたいと考えております。

青葉まつりの開催について



今年も昨年に引き続き、東日本大震災復興支援を目的としたチャリティイベントとし、収益のすべてを義援金として寄付させていただきます。

青葉も繁りはじめ爽やかな季節となりました。この爽やかな季節の中で毎年恒例であります「青葉まつり」を開催いたします。

当院では昨年同様、この青葉まつりを東日本大震災復興支援を目的としたチャリティイベントとして開催し、収益のすべてを義援金として寄付させていただくこととなりました。また、同時に参加者から義援金の募集も行う予定であります。

当日は患者さまの気分転換、そして地域住民と教職員の交流を図り、模擬店、健康相談、フリーマーケットなどのイベントを計画しております。

当院に来院される患者様や近隣の方々どうぞ奮ってご参加下さい。なお、病院北側駐車場を利用して行うため下記期間中においては、近隣の皆様や業者の方にご迷惑をおかけ致しますが何卒ご協力の程お願い申し上げます。

記

1. 日 時：平成24年5月25日（金）・26日（土）2日間
2. 場 所：病院北側駐車場
3. タイムスケジュール（予定）

5/25（金）	健康相談（地域住民・教職員対象）	11：00～16：00
	模 擬 店	11：00～18：00
	フリーマーケット	11：00～18：00
	バザー	12：00～時間限定
5/26（土）	健康相談（地域住民・教職員対象）	11：00～15：00
	模 擬 店	11：00～16：00
	フリーマーケット	11：00～売切れ次第終了
	バザー	12：00～時間限定



*写真は昨年（2012年）の青葉まつりから

泌尿器科外来リフォーム工事に伴う診察室の変更について

当院では昨年1月から診療科外来のリフォーム工事を段階的に行っておりますが、今回、泌尿器科の工事を行うことになりました。これに伴い、5月21日(月)から当科の診療は東棟1階時間外外来を仮設診察室として行うこととなりました。

工事期間中、患者様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

仮設診察室：東棟1階時間外外来 (青色の線に沿ってお進みください)

* 場所の詳細については、誘導案内表示が院内にありますのでそちらをご覧ください。
なお、このリフォーム工事の完了は本年7月末頃を予定しております。

助産師外来開設日の変更について

当院では助産師の専門性を生かし、妊産婦さんやそのご家族へきめ細やかなサービスを提供し快適なマタニティーライフを送っていただくことや、外来の待ち時間を短縮することを目的として、平成21年11月から「助産師外来」を行っておりますが、その開設日が下記のとおり変更になりますのでお知らせいたします。

《変更前》

曜日： 火・木・金 9:00～16:00
内容： 妊婦健診及び保健指導

《変更後》

曜日： 月・火・水・木・金 9:00～16:00
土 9:00～16:00
内容： 妊婦健診及び保健指導
産後育児相談・乳房ケアと母乳相談

◆ 変更年月日：平成24年4月から



その他詳しくは…

産婦人科医師・助産師・産婦人科外来スタッフへお聞き下さい

当院における夏季省エネルギー推進運動の実施について

当院では、政府が推進する「地球温暖化防止及び省エネルギー」の実施に加え、震災以降の節電に伴い、院内の設定温度を28度としております。

また、教職員においては、5月1日からクールビズ(服装の軽装化)などを実施しています。ご来院いただく皆様にはご理解の程よろしくお願いたします。

病院への手紙にお答えいたします

～当院の各部署に設置してあります、ご意見箱に寄せられる
患者さまのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

* 病室におけるワックス清掃について

〈入院患者 男性57歳〉

病室におけるワックス清掃の際、作業の前後で荷物や所持品の場所が違う。私の荷物は作業後にはバラバラになっていた。作業員は作業前に荷物の置き方やその他をデジカメやイラストで記録しておくべきではないか？

お答えいたします

今回ご意見いただいた作業前に荷物等の置き方やその他をデジカメやイラストで記録しておくということについては、患者様のプライバシーに関わることから実施は難しいと考えておりますが、今後は荷物の位置確認として位置札を目印として貼り、作業完了後に患者様に確認いただくなど改善に取り組んでいきたいと考えております。

また再度、各作業従事者に教育・指導を行い、患者様の立場になって作業に努めていきますと考えております。

* 駐車料金について

〈60歳男性〉

駐車料金について、現在お見舞いの場合は1時間250円となっているが、症状によっては1時間以上付き添いを必要とする場合が多々あります。入院が長期に亘ると駐車料金も大きな負担となるので、お見舞いについても外来受診の場合と同じ料金にしてほしい。

お答えいたします

駐車場利用に関して、予てより患者様・ご家族様等の来院者から「料金が高い」「もっと安くしてほしい」等のご意見を多数いただいておりますが、この高架下駐車場は当院の所有ではなく、東武鉄道所有のものであり、当院は東武鉄道との基本協定に基づき利用しているものであります。そのため料金徴収形態(割引率)についても、東武鉄道が設定した①患者用②見舞客用のみの区分であり、下記料金となっております。駐車場利用者のご意見は十分理解できるところではありますが、このような事情もご理解いただきたくお願いいたします。

(1) 患者様・・・・・・・・・・4時間まで200円 (以後30分毎に100円)

(2) お見舞いの方・・・・・・・・1時間まで250円 (以後30分毎に100円)